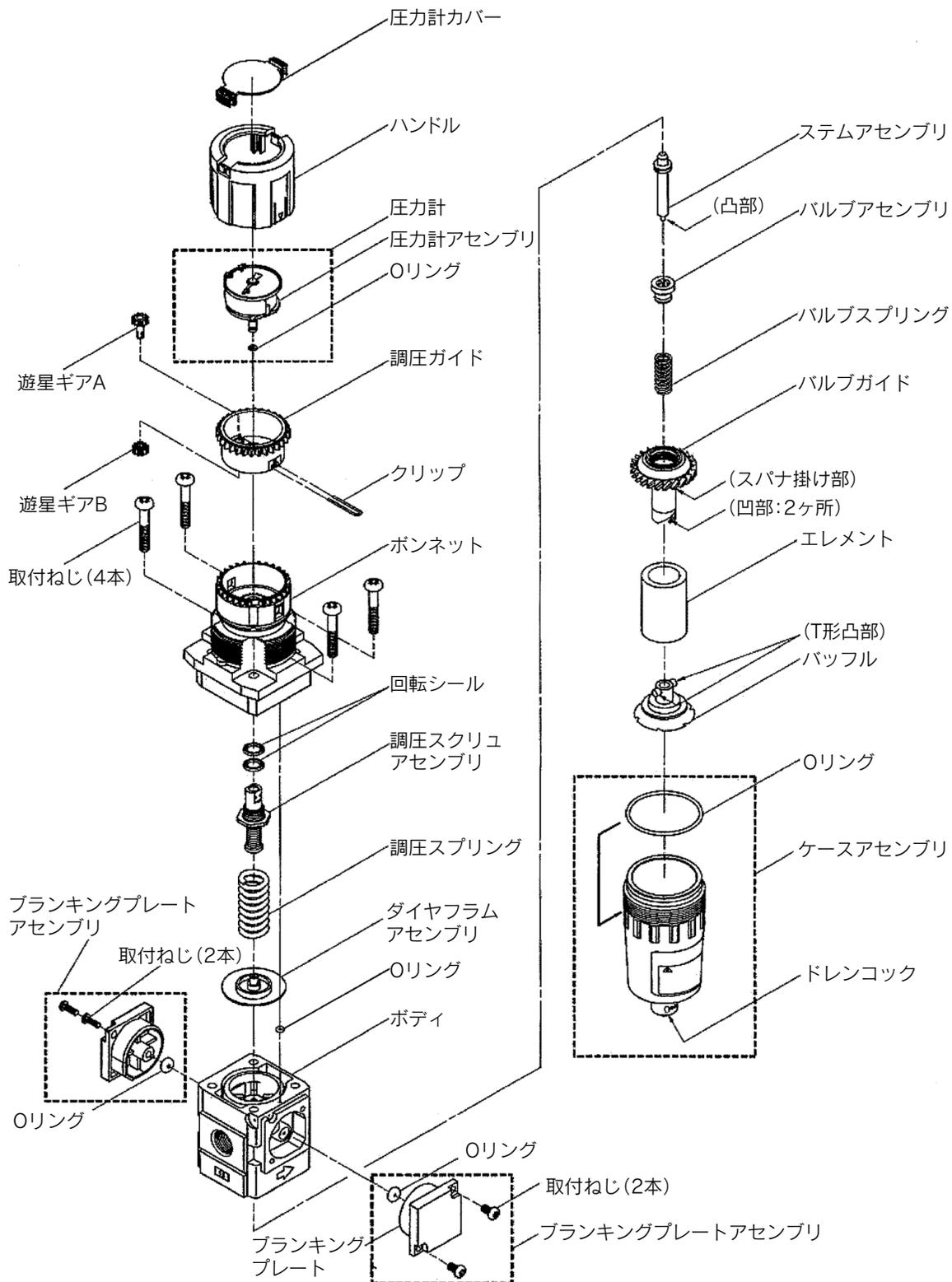
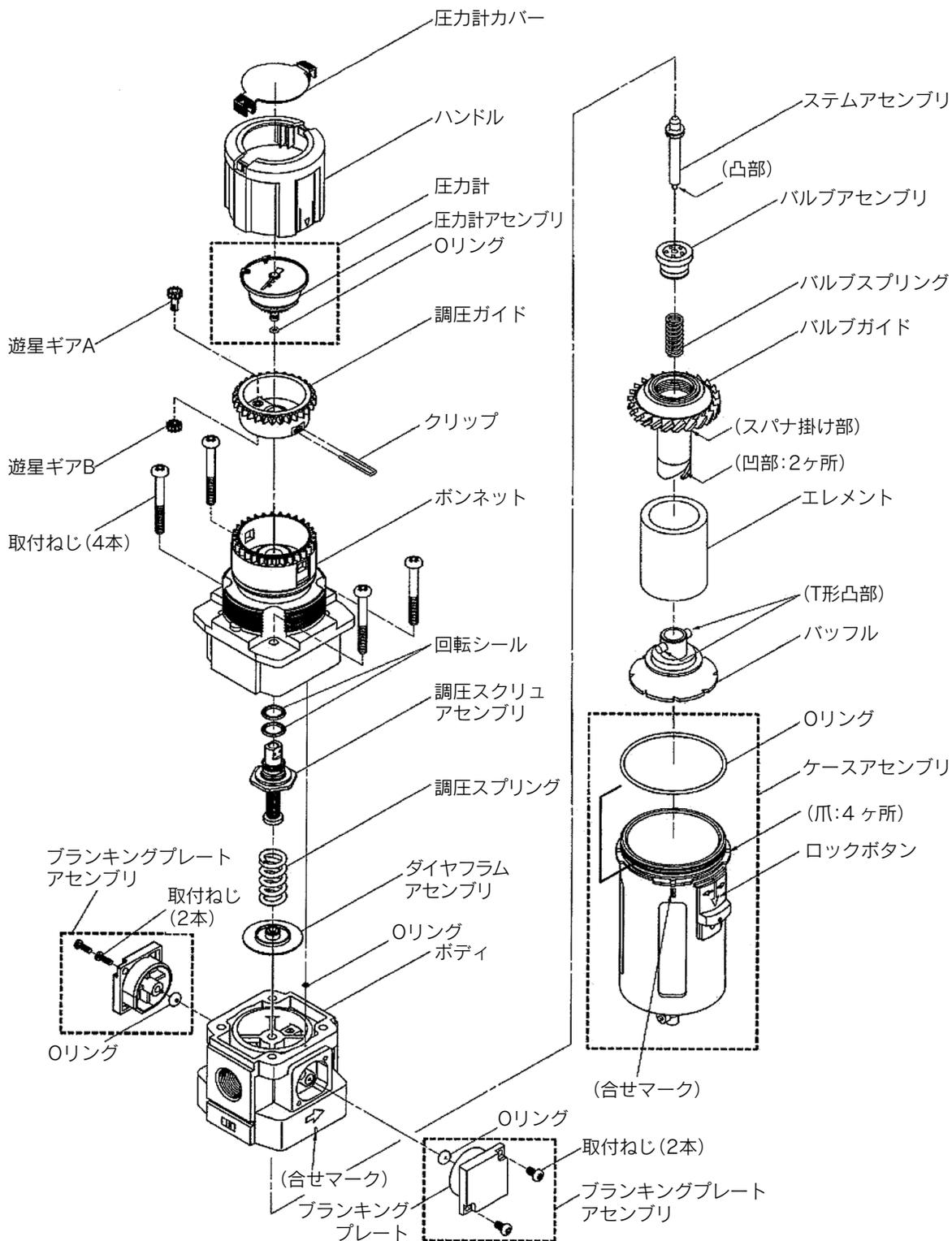


AWG20 分解図 ①

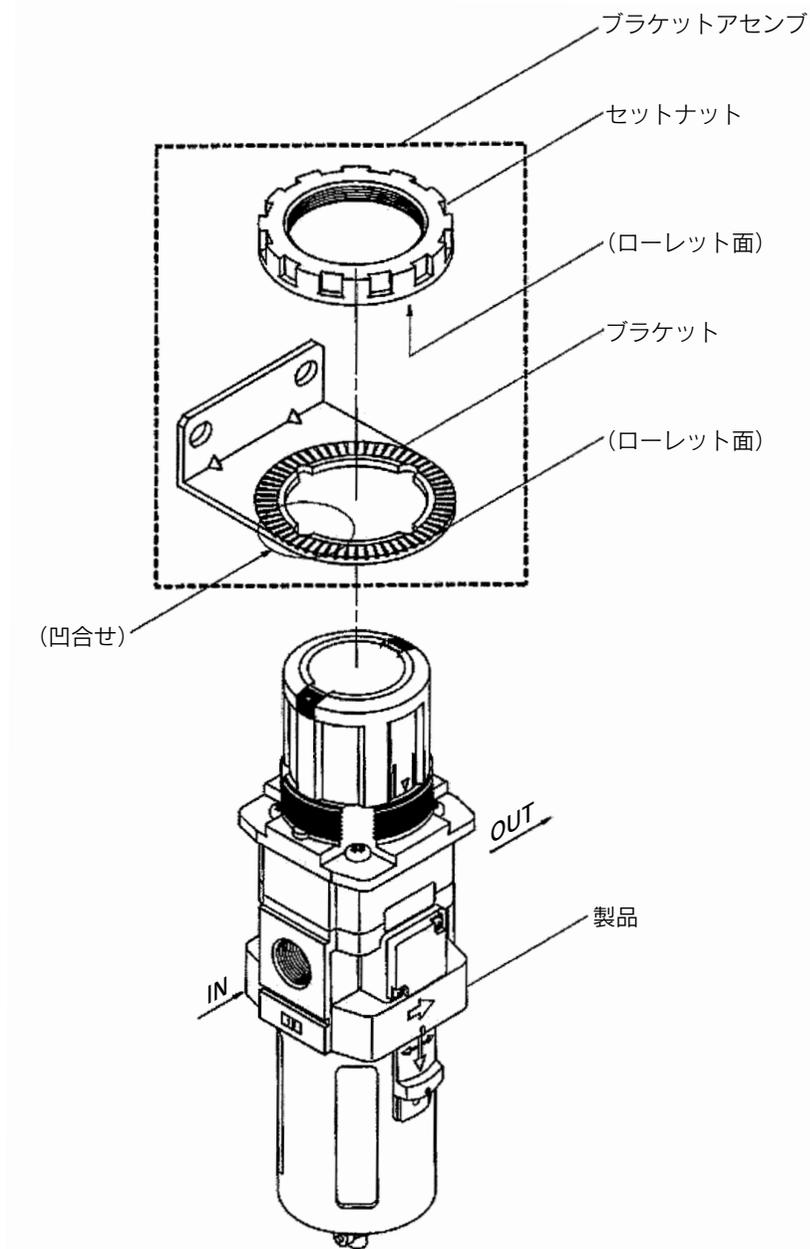


AWG30-40 分解図 2



アクチュエータ
 モジュラフォーマット
 圧力制御機器
 圧縮空気清浄化機器
 工業用フィルタ
 交換要領
 アクチュエータ
 モジュラフォーマット
 圧力制御機器
 工業用フィルタ

AWG20・30・40 ブラケットアセンブリ・パネルマウント分解図 3



AWG20・30・40 Series ダイアフラム交換要領 1

⚠ 警告

交換作業前には、本機器内に圧力がないことを必ず確認してください。
 交換作業前には、設定圧力は必ずハンドルを左に回して、設定ゼロの位置にしてください。
 交換作業は、「分解図」を参照して行ってください。
 交換作業後は、必ず所定の機能を満足することと外部漏れがないことを確認してから装置を作動させてください。

1 ケースアセンブリ／エレメント

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
AWG20	分解	1) ケースアセンブリを取外します。 手でケースアセンブリを握って左回転させて取外します。堅い場合には、最初だけ引掛けスパナを使用して緩めた後、手で取外してください。	(引掛けスパナ) (呼び:34/38)	—
		2) パッフル、エレメントを取外します。 パッフルを手で左回転させて、パッフル、エレメントを取外します。	—	—
	組付	3) エレメントを装着します。 エレメントをバルブガイドに装着します。	—	—
		4) パッフルを装着します。 バルブガイドの凹部(2ヶ所)にパッフルのT形凸部を合せて挿入し、手動で右にカチツとした感触が得られるまで(約110°)回転させてエレメントとパッフルを固定します。	—	—
		5) ケースアセンブリを取付けます。 手でケースアセンブリを握って右回転させて締付けます。ケースを傷付ける恐れがありますので工具などは使用しないでください。手締めによるトルクは、右記の管理項目参考締付トルク程度です。	—	参考締付トルク:2.2N・m
AWG30 AWG40	分解	1) ケースアセンブリを取外します。 ケースアセンブリのロックボタンを下に押し、ケースアセンブリを上側に持ち上げながら、左右のどちらかに45°回転させて、ケースアセンブリを引張って取外します。	—	—
		2) パッフル、エレメントを取外します。 パッフルを手で左回転させて、パッフル、エレメントを取外します。	—	—
	組付	3) エレメントを装着します。 エレメントをバルブガイドに装着します。	—	—
		4) パッフルを装着します。 バルブガイドの凹部(2ヶ所)にパッフルのT形凸部を合せて挿入し、手動で右にカチツとした感触が得られるまで(約110°)回転させてエレメントとパッフルを固定します。	—	パッフルの向き (凸側がエレメント向き)
		5) ケースアセンブリを装着します。 ボディの合せマークとケースアセンブリの合せマークを合せてケースアセンブリをボディに挿入し、左右どちらかに45°(ロックボタンがロックし、左右に回転できなくなるまで)回転させて、ケースアセンブリを装着します。この時、ロックボタンによりケースアセンブリがロックされていることを確認してください。	—	ロックボタンによりケースアセンブリがロックされていること

2 ダイアフラムアセンブリ

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目				
AWG20 AWG30 AWG40	分解	1) ボンネットを取外します。 ドライバー(+)にて4本の取付ねじを左回転させて、ボディからボンネットを取外します。	ドライバー(+)	—				
		2) 調圧スプリング、ダイヤフラムアセンブリの順で取外します。ハンドル側を下向きで作業しますと、ダイヤフラムアセンブリはボンネット側に取付いていることがあります。	—	—				
	組付	3) ボディにダイヤフラムアセンブリ、調圧スプリングの順で装着します。	—	ダイヤフラムアセンブリの向き				
		4) ボンネットをボディに装着します。 ボンネットの凸部をIN側にしてボディに装着し、ドライバー(+)で4本の取付ねじを仮締めした後、4本のねじを対角で均等に右記の締付トルクで締付けて固定します。	ドライバー(+)	締付トルク: <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>AWG20</td> <td>2.15±0.3N・m</td> </tr> <tr> <td>AWG30</td> <td>2.35±0.3N・m</td> </tr> <tr> <td>AWG40</td> <td>3.5±0.3N・m</td> </tr> </table>	AWG20	2.15±0.3N・m	AWG30	2.35±0.3N・m
AWG20	2.15±0.3N・m							
AWG30	2.35±0.3N・m							
AWG40	3.5±0.3N・m							

AWG20・30・40 Series ダイヤフラム交換要領 2

3 バルブアセンブリ

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目										
AWG20 AWG30 AWG40	分解	1) ケースアセンブリ、エレメントを取外した後バルブガイドを取外します。 バルブガイドのスパナ掛け部にスパナを掛けて、左回転させてバルブガイドを取外します。	スパナ 呼び: <table border="1"> <tr><td>AWG20</td><td>7</td></tr> <tr><td>AWG30</td><td>17</td></tr> <tr><td>AWG40</td><td>21</td></tr> </table>	AWG20	7	AWG30	17	AWG40	21	—				
		AWG20	7											
		AWG30	17											
	AWG40	21												
	2) バルブスプリングを取外します。	—	—											
	3) バルブアセンブリを取外します。	—	—											
組付	4) バルブアセンブリを装着します。 ステムアセンブリの凸部をバルブアセンブリのセンター穴が合うように位置決めしてください。	—	ステムとバルブの位置決め (センター合せ)											
	5) バルブスプリングを装着します。 バルブアセンブリの穴部にバルブスプリングを挿入します。	—	—											
	6) バルブガイドを取付けます。 バルブガイドのスパナ掛け部にスパナを掛けて、右回転させてバルブガイドを取付けます。この時の締付トルクは、右記の管理項目をご参照ください。	スパナ 呼び: <table border="1"> <tr><td>AWG20</td><td>7</td></tr> <tr><td>AWG30</td><td>17</td></tr> <tr><td>AWG40</td><td>21</td></tr> </table>	AWG20	7	AWG30	17	AWG40	21	締付トルク: <table border="1"> <tr><td>AWG20</td><td>0.8±0.1N・m</td></tr> <tr><td>AWG30</td><td>2.35±0.3N・m</td></tr> <tr><td>AWG40</td><td>3.5±0.3N・m</td></tr> </table>	AWG20	0.8±0.1N・m	AWG30	2.35±0.3N・m	AWG40
AWG20	7													
AWG30	17													
AWG40	21													
AWG20	0.8±0.1N・m													
AWG30	2.35±0.3N・m													
AWG40	3.5±0.3N・m													

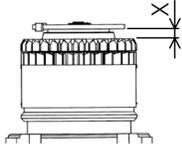
4 ブラケットアセンブリ／パネルマウント

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目										
AWG20 AWG30 AWG40	組立	1) ブラケット(パネル)に製品を装着します。 ブラケット(パネル)の凹合せとボンネットの凸合せとを合せて製品をブラケット(パネル)に装着します。	—	—										
		2) セットナットにてブラケット(パネル)に製品を固定します。 セットナットを引掛スパナで右回転させ締付けて製品をブラケット(パネル)に固定します。 締付トルクは、右記の管理項目をご参照ください。 ブラケット取付けの場合には、セットナットのローレット面がブラケットのローレット面と合うようにしてください。(AWG20～40) ブラケット取付けの場合には、一般使用において、セットナットを手で強く締付けても使用できます。(AWG20～40)	AWG20/30/40 引掛スパナ 呼び: <table border="1"> <tr><td>AWG20</td><td>52/55</td></tr> <tr><td>AWG30</td><td>58/65</td></tr> <tr><td>AWG40</td><td>65/70</td></tr> </table>	AWG20	52/55	AWG30	58/65	AWG40	65/70	締付トルク: <table border="1"> <tr><td>AWG20</td><td>2.0±0.2N・m</td></tr> <tr><td>AWG30</td><td>3.5±0.3N・m</td></tr> <tr><td>AWG40</td><td>4.0±0.4N・m</td></tr> </table>	AWG20	2.0±0.2N・m	AWG30	3.5±0.3N・m
AWG20	52/55													
AWG30	58/65													
AWG40	65/70													
AWG20	2.0±0.2N・m													
AWG30	3.5±0.3N・m													
AWG40	4.0±0.4N・m													

AWG20・30・40 Series 圧力計交換・角度変更作業要領 ①

⚠ 警告

交換作業前には、本機器内に圧力がないことを必ず確認してください。
 交換作業前には、設定圧力は必ずハンドルを左に回して、設定ゼロの位置にしてください。
 交換作業後は、必ず所定の機能を満足することと外部漏れがないことを確認してから装置と作動させてください。

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目							
AWG20 AWG30 AWG40	分解	1) 事前準備 ハンドル完全に緩めた状態で、ハンドルのロックを解除した状態としてください。	—	ハンドルとボンネットの間にオレンジ色のラインが目視確認できます。							
		2) ハンドルの取外し ハンドルの▼マークとボンネットの▲マークを合わせた位置で、ハンドルを引張って取外します。	—	—							
		3) クリップの取外し ボンネットの▲マークと調圧ガイドの▼マークの合わせた位置にすると、ボンネット横窓からクリップが見えますので、クリップをピンセットで摘んで引抜きます。 ※マークを合せるときは調圧ガイドを時計回りに回して合せます。	ピンセット	—							
		4) 圧力計の取外し 圧力計の文字盤外周部を持って圧力計を引抜きます。 ※圧力計の内機部分()部は触らないでください。 圧力計の示度精度が狂うことがあります。	—	—							
組付	5) 圧力計のセット 圧力計の文字盤外周部を持って圧力計を任意の角度に合わせて、軽く押込みます。参考として圧力計取付後の文字盤下面と調圧ガイド上面の隙間寸法を表1に示します。 注1) 圧力計セット時に引っ掛けて入らない場合は、圧力計を左右僅かに揺動させながらセットしてください。 (調圧ガイドの歯車と圧力計に取付けられている歯車が上下で引っ掛けて入らない場合があります) 注2) 圧力計を奥まで確実にセットしてください。 注3) 圧力計先端にはグリスが塗布されたOリングが装着されています。圧力計セットの際にはゴミや塵をまきこまないように注意してください。	—	 表1. 隙間寸法 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>AWG20</th> <th>AWG30</th> <th>AWG40</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X寸法 (参考値)</td> <td>2.6mm</td> <td>3.3mm</td> <td>3.3mm</td> </tr> </tbody> </table>		AWG20	AWG30	AWG40	X寸法 (参考値)	2.6mm	3.3mm	3.3mm
	AWG20	AWG30	AWG40								
X寸法 (参考値)	2.6mm	3.3mm	3.3mm								

アクチュエータ

モジュラ制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラ制御機器

工業用フィルタ

AWG20・30・40 Series 圧力計交換・角度変更作業要領 2

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
AWG20 AWG30 AWG40	組付	<p>6) クリップのセット 調圧ガイドの▲マークとボンネットの▼マークを合わせた位置でボンネットの横窓からクリップを挿入します。挿入の際はピンセット等先の尖ったものを使って奥まで確実にセットしてください。クリップが奥まで確実にセットされていない場合、ハンドルセット後にハンドルが回らないことがあります。</p> <p>注1) クリップには抜け防止の為、先端にかけて僅かにテーパをつけています。クリップをセットする際は先端を若干広げながらセットしてください。</p> <p>注2) クリップが途中で引掛って奥まで入らない場合、以下の原因が考えられます。</p> <p>① 調圧スクリュが元の位置よりも下がってしまっている。(完全に調圧スクリュを緩めた状態では、調圧ナットと調圧スプリングの間に隙間を設けている為、調圧スクリュを押込む力が過大に加わると調圧スクリュが下がってしまう場合があります。) 対策…調圧ガイドを時計回り(昇圧方向)に5回転程度回してください。</p> <p>② 圧力計が確実にセットされていない。 対策…5) 圧力計のセットを参照ください。</p>	ピンセット	—
		<p>7) ハンドルのセット ハンドルをセットして完了です。</p>	—	—